

1 題材名 見直そう！私たちの給食

2 題材について

(1) 題材観

児童が一日に取る食事3回のうち1回は学校給食であり、給食の時間は児童にとって学校生活における楽しみのひとつである。また、学校給食は栄養教諭が栄養価やカロリーを考えて作るバランスのとれた献立の見本といえる。我が校は自校給食であり調理場を身近に見たり、感じたりすることができるというよさがある。

社会科において児童は、食料生産に携わっている人々を知ること、苦労や努力、工夫していることを知り、私たちの食べ物がどのように作られ食卓に届くか、また、「地産地消」のよさを学習した。しかし、実際の給食では、食べたことのない食材や嫌いな食材が入った食べ物については、口にすることなく、一口も食べないといった傾向にある。また、食事のマナーが守られず、給食の時間に不満を持っている児童も多い。

そこで、学校給食のよさに気づかせ、バランスのとれた食事を取ること、食事のマナーを守ることは、自分自身の健康を保持する上で大切なことを認識させたいと考え、本題材を設定した。

(2) 児童観

実態調査(児童数 男子14名 女子16名 計30名) 10月20日実施

質問項目	結果
・給食は好きですか。	・はい 24名 ぶつう 6名 いいえ 0名 (手作り栄養があるから14名おいしいから10名)
・そのわけは何ですか。	(家の方がおいしいから4名、嫌いなものが出るから2名)
・給食の良いところは何ですか	・わからない9名 ・栄養バランスがいい15名、みんなと食べると楽しい6名
・給食をどれくらい食べていますか。	・いつも残さない5名 残すことが多い25名
・給食を残したときどういう気持ちになりますか。	・特に感じない6名 何か感じる24名 (もったいない15名、次は残さないようにしよう7名、残念な気持ち2名)
・給食の時間、困っていることはありますか。	・ない13名 ・ある17名(うるさい10名、食べ方がきたない7名)

アンケートの結果を見ると、給食を全部食べていると答えた児童は16%しかおらず、嫌いな物は残してしまうといった児童が非常に多い。給食のよさについては、「栄養バランスがよい」と答える児童もいるが、給食のよさに気づいていない児童もいることがわかった。また、給食を残すことに何も感じない児童も少数だがいることがわかった。

(3) 指導観

本時は、実際に毎日給食の献立を考えている栄養教諭に授業に参加してもらうことで、給食や健康に対する思いや願いに気づかせたい。そうすることで、自分の健康の保持増進と学校給食の関わりに関心を持つとともに、栄養バランスのとれた食事をとることの大切さ、さらに食事のマナーを守り、感謝しながら食べようとする態度を身につけさせたい。

3 指導計画

日時	活動の内容	活動の場	活動の主体	指導・援助
10/20	アンケートを実施する。	朝の会	学級全児童	日常の食生活を振り返るよう助言する。
11/9 10	資料を作成する。	昼休み 放課後	教師と計画 係	分かりやすい資料になるように助言する。
11/17	役割分担をし、司会進行の打ち合わせ及び練習をする。	昼休み 放課後	教師と計画 係	それぞれの役割を自信を持ってできるよう励ます。
11/19	見直そう！私達の給食	本時	学級全児童	学級全員で一人一人を尊重しながら考えさせる。
随時	好き嫌いなく食べようとする。	給食 家庭	学級全児童	少しでも食べられたときには、みんなで賞賛するようにする。

4 本時の学習

(1) 目標

学校給食のよさに気づき、バランスの取れた食事をとることや食事のマナーを守ることの大切さを知ることができる。

(2) 食育の視点

心身の健全な成長や健康の保持増進のために望ましい栄養や食事のとり方を理解しよりよい食習慣を身につける。 (心身の健康)
給食にかかわっている人々への感謝の気持ちを持つ。 (感謝の心)

(3) 準備・資料

アンケートの結果表 ビデオ (給食の様子) 給食の写真 ワークシート

(4) 展開

食に関する支援

学習活動及び内容	教師の支援と評価	資料
<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果発表や給食の様子のビデオを見て、学級の実態を知る。 気づいたことを発表する。 <p>2 本時の課題を確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果から、給食を残している児童が多いことに気づかせるとともに、給食のよさに気づいていない実態をつかませたい。 資料を見て、学級全体の問題点に気づかせたい。 自分の給食のとり方をみて、今の給食のとり方の課題について考えさせる。 	
見直そう！私たちの給食		
<p>3 外国の給食と本校の給食を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国の給食と本校の給食を比較し、気づいたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間のテーマ「食を探ろう」との関連から外国の食文化を理解させるとともに本校の給食のよさに気づかせたい。 	
<p>4 栄養教諭から給食についての思いや願い、給食の目的について話を聞く。</p>	<p>給食の献立を考える時に気をつけていることやカロリー、地産物、食べやすさなどだけでなく、給食の残量についても触れてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食の献立のよさと同時に残量の多さに気づかせたい。 	
<p>5 学級として取り組めることについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 給食の時に取り組めることなど学級全体として問題解決に取り組みたいことについて意見を出し合うようにする。 	
<p>6 自分に合った目標を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見や栄養教諭の話をもとに、これからの給食のとり方についての目標を自己決定させる。 	
<p>7 本時の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の感想を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの自分の食べ方を振り返って感想が言えるよう助言する。 食生活についての自分なりの目標が持てるよう支援し目標に対して賞賛する。 <p>評 学校給食のよさに気づき、バランスの取れた食事をとることや食事のマナーを守ることの大切さを知ることができたか。(ワークシート参照)</p>	

5 事後の活動と支援

- 給食の時間において残量のない児童や残量を減らそうとしている児童をみんなで賞賛する。
- 配慮を要する児童(食物アレルギー)については、保護者と連携しあうようにする。
- 健康を保つためには、栄養だけでなく、運動・休養なども必要であることを確認し、家庭での食事についても見直していけるよう支援する。